Massage from OKINAWA 6

2回目の成人式

サバエ（会社員／41歳）

僕は41歳。ことし誕生日を迎えたら42歳だ。自分で書いたこの数字を見て、我ながら驚いてしまう。「いやあん☆」とかおどけてみたくなる。
でもおどけたって何も変わらない。そもそも42にもなって「いやあん」かよ。
泣こうがわめこうが、誰にも時間の経過を止めることはできない。
そう、42年間、生きてきたのだ。
去年から今年にかけ考え始めたのが「老後」。
もとより極楽トンボで、楽しければ構わないし、後先を考えない自分。
そんな自分はこの先、一体どんな人生を歩むのだろう？　自問自答。

こないだ会社の後輩と話してたら年齢の話になった。
「サバエさん41歳!?　マジっすか！」
若く見えるのねアタクシ。まあ努力もしてるしね。うふふ。なんて思ってたら
「40代って社会的責任もあるし大変ですよね。なんてったって人生折り返しだし」
と彼は続けた。思わず彼の顔をみた。冗談いってるのかと思って。
いや、20代後半の彼はいたって真面目、神妙に考えながら話している。
けっこうショックだった。『折り返し』って言葉。

人間は確実に年をとる。人生80年って考えれば、確かに40代は折り返し。
ストレートの同級生は結婚し、小学校高学年から中学生の子供を育てている。
彼らの40代と、僕らの考える40代にはちょっと差があると思う。
そういった結婚・出産などの節目、子供の成長といった、自分の年齢をはかる身近な物差しみたいなのが、独身でゲイの僕には無いのだ。
気ままな独身ゲイは、ある日どこかでドスンと年齢相応の現実を突きつけられるだろう。

おまけにゲイは若作りの傾向が強い。誰でも若々しくいたいという気持ちがあるだろうが老けたくないという気持ちは、他の男性より強いものがある。
そしてますます現実から遠ざかりがちになる（アタクシだけでしょうか？　書いてて不安です）。

でも、現実は現実。これからは若さを失うばかり。そこでちょっとだけ考えた。
楽しく生きることは人生の最大の目的であるし、最大の目標だが、これからは「楽しくしっかりと生きる」ことを目標にしたい。遅まきながら（笑）。
親のこと、お金のこと、老後のこと、仕事のこと…すべていっぺんには考えられないのだけど、近いうち必ずやってくる「現実」を見据えていきたい。
でも暗くなるなんてナンセンス。明るく楽しく、プラス「しっかりと」だ。
失う若さの代わりに、これから得るものは山ほどある。だから人生は楽しい。

ちょうどいい具合にトシをとってるのかもしれない。
2回目の成人式のあと、遅まきながら、ようやく僕は自分の年齢を実感している。

Message from OKINAWA 7

それでも生きたかった

匿名希望（男性／30代）

私は、HIVポジティブです。感染が発覚したのは、平成13年1月。熱が続き、さまざまな病院へ行ったりして、点滴を受けたり、風邪薬をもらって、会社を休んで療養していましたが一向に熱はさがらず、

「もう、だめかな？」

と自分でも思うくらい、生きてきた経験の中には無い、全身のだるさが、体を覆ってしまい、まったく、何をする気もおきませんでした。

「ひょっとして…」

今まで、脳裏をかすめても否定していた、HIVという言葉。でも、ここで、保健所への一歩を踏み出しました。検査結果を聞きに行ったとき、冷静に聞いているように努めました。聞く前から、自分はHIVではないかと思っていましたので、担当の方の話し方が言いにくそうな感じでしたので、

「あー、やっぱり」

と思い、なんともいえないような汗がドッとでてきたのを覚えています。

HIVポジティブだという、告知を受けて、紹介状をもらって、家に帰るまでの間のことはまったく覚えていません。自宅に帰ってから、泣きました。声を出して泣きました。会社の寮だったことから、周りに気づかれないように、布団をかぶって、一晩泣きました。

仕事場でも、昨日までの自分と違う気がしました。周りは何も変わってなく、仕事も同僚も何も変わってないことが逆に自分が感染してしまったことを特別な事と浮き彫りにしているようで、いたたまれない気持ちでした。

一時は、人との会話や接触を避けるようになってしまいましたし、人として、失格の烙印を押されたような失望感、いつどうなるかわからないという不安。

「いつまで生きられるのか…」

「最後は、苦しむんだろうか。汚らしい死を迎えるんであろうか…」

「でも、これは自業自得なんだ。だれも助けてくれないんだ…」

と、出口がない暗闇に一人でいるような感覚でした。

それでも、私は、生きたかったのでしょう。紹介された、拠点病院へ行きました。

職場へ、病名が知られてしまうのではないか、という不安もありました。いろんな出来事のたびに、不安がよぎりました。でも、ふと、思ったことがあったのです。服薬をしている今は、自分がHIVポジティブであるということを、あんまり意識してないことに気がつきました。それほど、普通に過ごせているのです。

逆に、病気によって、様々なことが、わかった気がします。人の不安や、恐怖。人は、それぞれに、不安を抱えて生きているんだなあと。自分だけ不幸みたいな考え方はやめようと。くよくよしても仕方ない。これからを楽しくするために何ができるか。病気で苦しむとはどういうことか。

毎日、ニュースでは人が亡くなったりしています。毎日、不安になって怯えて生きるより、自分らしく、自分にできること、しなければならない事がたくさんあります。毎日が、人生の勉強です。HIVがこれ以上、蔓延しないためには、何ができるか。HIV感染がわかったばかりの人に自分に手助けができるのか。少しでも役に立てることができるのか。

時間は、みんなに平等に与えられています。楽しく、笑顔で、そして、周りの人に感謝して生きていく。そういう人生を歩みたい。泣いても良いけど、そのむこうの扉を重いかもしれないけど、開けていけば、そこにさらに新しい自分の姿が見えるような気がします。いや、見えるはずです。すこしかっこつけてしまいましたが。だから、私は、これからも、HIVと付き合っていきますし、自分らしく、自分の人生を歩みたいと思います。少しでも、誰かの心に灯りがともれば、幸いです。

Massage from OKINAWA 8

ひとつの出会いが教えてくれた

eo（専門職／30代）

今から5年くらい前、エッチ掲示板を見ていたらそそられるプロフの書き込みを見つけメールを交わし会う約束を取り付けました。夜中に車を走らせ、待ち合わせ場所に現れた彼は整った顔立ちに浅黒い肌、笑うと自然にこぼれる白い歯、薄いヒゲが似合う完璧な「沖縄のイケメン」でした。すっかり舞い上がった自分は「絶対にコイツとやる！」と意気込み、会話もそこそこに車の後部座席へと移動し抱き合うところから始めました。

でも、彼のことをいろいろ知りたいと思ったので、キスをする直前にちょっとだけ話し始めたところ実は高校の後輩ということが分かり、話が止まらずついにはエッチをする雰囲気ではなくなってしまいました。

3時間ほどそのまま夜中の車内で話し込みましたが、最後の方で「僕、HIVに感染しているんです」という告白を受けました。これが自分にとって初のHIV陽性者との出会いでした。それ以降、HIVはすごく身近な問題なんだと考えるようになりました。

自分もそうですが、出会いが欲しいときにはインターネットを利用する人も多くいると思います。中にはコンドームを使わないセックスを求める人たちのサイトや、自分の感染を知って自暴自棄になった人の書き込みを目にすることもあります。あえてセーファーセックスに反発するようなグループも増えているようです。セックスは個人的なものだし、主観の問題なので「セックスはゴム無しの方が興奮する」と主張する人や、「ゲイって年とったら終わりでしょ、どうせ結婚して家庭をもつわけでもないし、子供も持たないから自分だけの責任だし、だったら、若いうちにやりまくって、病気にかかって早くキレイなうちに死んでもいいんじゃないの？」という言葉に、どのように反論したらいいのか、分からないときがあります。それは、みんなや、そして自分が抱えている不安や欲望の表現そのものだと思うからです。

また、これだけHIV感染者が増加した現在　ネットでの出会いの中に、病気にかかることを「普通」や「仕方ない」と考える若い人たちがいることも事実です。

最近は沖縄でもHIVや性感染症の予防啓発の活動が始まり、おかげで桜坂の飲み屋さんで「セーファーでやっとく？」という標語とともに置いてあるコンドームもずいぶん自然になったように思います。セーファーセックスをもっと意識するようになった人たちも増えてきたのではないでしょうか。

より安全なセックスの促進が進む一方で、「もしHIVなどの病気にかかったらどうしたらいいんだろうか？」「病気になったら孤独になりそうで怖い」という不安に対する支援が今の沖縄にはまだまだ不足しているように思います。

自分が感染者になる可能性はいくらでもあるにもかかわらず、まだまだ他人事としてしか考えようとしない人が多いのではないでしょうか。そういう自分も今後HIVに感染したという告知を受けることになった場合、何かの頼りがないと容易に絶望に追いやられると思います。

沖縄県内でHIV感染者は150人以上いて、間違いなくこれからも増えていくことが考えられます。セーファーセックスや病気についての教育についてはもちろんですが、それ以上に感染者同士の交流や情報交換、そして感染者と非感染者との意見交換の場など、もっと増えていけばいいなと思うし、自分もそういう動きに積極的にかかわりたいと考えています。

Message from OKINAWA 9

「いってきます」と「おかえり」の間に

GS（会社員／20代）

「いってきます」

まだ布団の中で寝ぼけ眼の彼氏に言う。僕はスーツに身を包んで玄関のドアを開ける。外に出ると、今日も相変わらず忙しない世の中に飲み込まれそうになるのだった。

出社して、仕事に取り掛かる。何かに騙されているように、オートマティックに時間が過ぎてゆく。あっという間に夜だ。バスを待ち、独特の匂いを発する座席に、疲れた身体をうずめる。タクシーのくだらない運転で出来た渋滞にイラッとしながら、ちんたら走り抜ける国際通りを横目に早く家に帰りたいと願う。

家に着いて、まだ帰っていない相方を待ちながら、明日のお弁当につめるご飯を炊飯ジャーにセット。どうしても眠気に勝てないときは先に布団に入ってしまう。それからしばらくして玄関の鍵が「ガチャッ」と開けられる音で半分だけ目を覚ます。

「おかえり」

こちらが既に寝ぼけ眼だ。あれ、今日はきちんと話をしたっけ…、と考えている間に僕らの平日は飛ぶように過ぎていく。毎日は薄いのかもしれないが、とても幸せで充足感のある毎日を送っている。

沖縄で2人暮らし。男と男の2人暮らし。隣の家も、その隣も小さな子どもがいる若い家族がくらすマンション。土日ともなると、朝から子どもの足音や声が聞こえてくる。そんな隣人達とエレベーターで一緒になる時、廊下ですれ違う時、駐車場で会う時に、なんだかやっぱり気まずい。オカマが集まったりすれば、さぁ大変！　遠慮の無いピンクの笑い声が、コンクリートの壁を筒抜けるんだから。みんなが帰った後の静けさに、ふと隣近所への気まずさを思い出したりして…。隣の家に住むノンケカップルの方がよほど気持ち悪い（と思っている）けれど、自分たちも気持ち悪いって思われているのかな。

2人はそれぞれ仕事を持ち、様々な社会の中に生きている。どこでもオープンでいられないのは当然のこととしてゲイを隠して生きているけれど、そんな中、同棲できていることは、奇跡かもしれない。

今週末は何をしようかな。

Massage from OKINAWA 10

20年後の自分

汁子（会社員／20代）

アタシも40を過ぎたころから、色々と考える機会が多くなってきたのよね。自分のこれからの生き方、親のこと、パートナーとの関係とかさ。

今年、2009年の正月に久しぶりに父親と会ったの。新年の挨拶をするために一緒に親戚回りをしてね。父親を送る帰りの車の中でこんなことをボソって言うのよ。

「お前、今年いくつになる？　今年こそは結婚したほうがいいんじゃないのか？　年をとって独りってのは淋しいぞ」

って。

すかさずアタシは

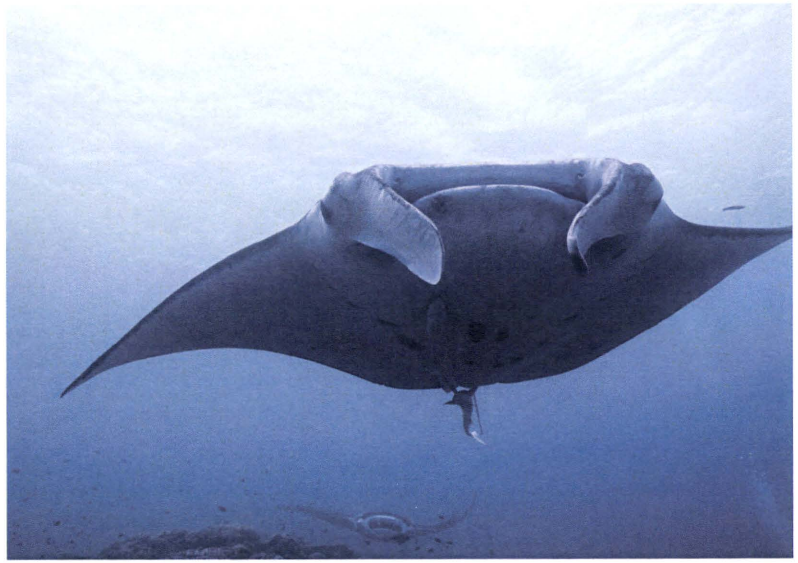
「うるさいわね〜！　いい年こいていつまでもグダグダ言ってるんじゃないわよ。アンタに言われなくたってわかってるわよ〜っ！　アタシだってノーテンキに毎日過ごしてるわけじゃないんだからぁ。アンタ、そうアンタよ。自分勝手ばかりしてそんなことよく言ってられるわねぇ。でもアタシにだって今、彼氏いるんだからねっ！　（今のところは）好きだって言ってくれてるし、アタシはブスだけど、その人はすっごいハンサムなんだからねっ！　20代でピチピチ輝いているし、いい人なんだからね！　喧嘩もしょっちゅうだけど、アタシの自慢の彼氏なんだからねっ！　でも、その人と結婚したいって言ったら、アンタ、認めてくれる？」

すんでのところで喉元まで出掛かった言葉をのみこんだわ。危ない危ない。あやうく全部吐き出すとこだった。

というわけで今、こんなドブスなアタシにも付き合っていただいて半年になる相方さんがいます。16歳年下。これからどうなるのかわからないけれど、もしかしてこの人とならこれからずっと…なーんて想像してみる。いや、相手はまだ20代だし、アタシが考えているようには二人の関係を考えてるわけはないわよね。じゃあもしこの彼氏と別れて一人になったとき、この先また出会いはあるのかしら？　短髪髭でも中身は乙女（!?）のこのアタシを誰か拾ってくれるのかしら。う〜ん…。「姐さん、年上専の若い子もたくさんいるから大丈夫よ〜」という話も聞くけど、アタシは別に若い子が好きというわけでもなく、これからの将来も考えた上で「パートナーと呼べる人と落ち着きたい」という思いの方が強いのが正直な気持ち。でもこればかりは焦ってもどうにもなるわけではないし。

じゃあ、親もいない、パートナーもいない20年後の自分を考えてみたときに、やっぱり横の繋がりっていうのかしら？　友人との付き合いが大事になるんじゃないかと思うの。これまで築いてきた関係、そしてこれから築いていく関係。バーでの飲み友達以上に信頼し合える関係。パートナーはいなくても、一緒に笑ったり泣いたりできる友達関係を作っていかなくちゃならないんじゃないか！　と。ここはかなり真剣にそう思ってます。誰かアタシとお友達になって〜！

やはり年の上下は関係なく人とのつながりはとても大切。これはこの年代になってつくづく感じます。それはノンケとの付き合いも含めての話。出会いはやはり縁だと思います。もちろん気の合う（タイプだらけの）ゲイ友とワイワイガヤガヤ楽しくおしゃべりしたりっていうのももちろん楽しいし、大切だけれども、職場を含めアタシ達の周りがノンケ社会であることに変わりはない。だから高校や大学の友達とか、職場でいっしょに働いた仲間とかそういった人たちにいつ何時お世話になるかわからない。ゲイであることをずっと周りの人たちに隠し続けて、ある意味神経過敏になってるところもあるかもしれないけれど、オープンにできないことはあまり気にせずに、いろんな人間関係を作っていかなければと思うのでありますわ（実はそれが一番できていないのはアタシなんだけどね（笑））。



Massage from OKINAWA 11

ポジティブでも決して一人ではない

GREEN（家事手伝い／20代）

自分の周りには数人、HーVキャリア、ポジティブの人がいる。みんなとても元気で、恋人がいたり、スポーツしていたり、友達と騒いだりと、健常者となんら変わりはない人ばかり。ただHーVを持っているだけで、なんの変りもないホント元気な人達だ。

その中で、自分の知人にはポジティブの人と付き合っている人がいる。一人で抱え込むのが限界だったようで、自分に話してくれた。

彼氏とは半年前に付き合って、健康診断のつもりで一緒に保健所で検査を受け、彼氏だけがポジティブだったそうだ。原因は、知人と付き合う前に他の人と遊んで感染したようだった。それでも、病気は関係無く付き合っていこうと考えたそうだ。

そのほかにも、知人から彼氏との色々な話を聞いた。彼氏は病気を知ったショックでひどく落ち込み、次第に病状も悪化していったそうだ。そんな状態な彼氏に対し「どう気遣えばいいか」「体調の悪いとき、どう接していいか」「エッチとかはどうすればいいか」また、知人自身も、半年の間、病気のことを知らずセックスをしていたので、もしかして自分も感染しているかもしれない。など、とても今までの自分からは想像出来ない問題を抱えていた。

もともと自分は、学生の頃からHーVについて関心があり、人より知識は持っているつもりだった。いざ周りにポジティブな人が表れたとき、内心動揺した。以前から、県内にも陽性者が居ることは知っていたが、さすがに身近にはいないだろうと大きな勘違いをしていた。結局、アドバイスと言えるアドバイスはできず、ただ聞いてやることしかできなくて、とりあえず二か月後また検査を受けるよう勧めた。

その後、知人はインターネットで知り合った同じ境遇の人とメールをして、恋人として何ができるか日々考えているようだ。彼氏の方も、医者に専門のカウンセラー、ソーシャルワーカーなど、医療のサポートを受けて少しずつだが順調に回復しているらしい。

今では、HーVは死ぬ病気ではない。例えポジティブになったとしても、決して一人ではない。多くの人が支えてくれる。理解してくれる人も増えている。自分もそんな一人になれればと、これからも二人を応援していきたいと思った。残念なことに、沖縄ではHーV陽性者が今も増え続けている。自分の為にも大切な人の為にも、少しでも多くの人がこの病気を理解し、セーファーセックスを心がけて欲しいと実感した。

今では二人とも元気で、セーフでだけどセックスも楽しんでいるらしい。

Massage from OKINAWA 12

セーファーセックスは自分自身のために

T.K（自営業／30代）

実は俺10年ぐらい前かな、B型肝炎にかかったことがあるんだ。1月2日。正月早々仕事。でもなんかとても足が重いんだ！　走ってるつもりでも走れてないっていうか、足があがらないんだよね。家に帰って、当時付き合っていた彼氏（医者）に見てもらったら、「肝炎かもしれないから病院行った方がいい」と救急病院を探してもらって、連れて行ってもらった。「肝炎」って言われてもどんな病気かもわからないし、軽い気持ちで病院で検査を受けた。結果がでて、入院が必要だと。

「じゃあ、家に1度帰って荷物もってきます」

そんなノンキな程度じゃなかった。今すぐにでも安静が必要だと、即入院。

両親に連絡をして荷物をもって来てもらったんだけど、何か部屋に置いてなかったか心配しながらの電話だった。

それが入院した病棟には高校の同級生の女の子が看護師をしていて、はじめは「あー知り合いがいてよかった」と思ったけど、よく考えるとSTDだし恥ずかしいなーと。しかも、絶対安静の状態で、尿瓶を使ってのおしっこはもちろん、大きい方もおまるで室内でやる状態だった。入院当初は尿瓶の片づけなどは気を使ってか、彼女ではなく必ず他の看護師がやってくれた。

まわりのみんなにも迷惑をかけた。両親はウォーキングがてらだと毎日顔をだしてくれ、体調のよくない日には夜中でも足を運んでくれた。

仕事を休んでいる間はペアを組んでいた女の子にはかなりの負担をかけてしまった。職場の人、同級生、模合仲間、ゲイの友人、彼氏。たくさんの人がお見舞いに来てくれた。

まわりだけでなくもちろん俺も大変だった。3ヶ月近く、風呂にも入らず、髭も剃らず。ただ、ベットの上で寝ているだけ。

否！　それだけならいい。本当に辛かった。

点滴がうまく入っていなかったのかそこから炎症を起こし、高熱が続いた。夜中に両足がガクガク震え、止めたくても止まらない。ナースコールを押そうとすると、右手と左手がどっちが押すかでケンカをするんだ。

「お前が押せ」

「お前の方が近いだろ！」

俺、頭がおかしくなちゃうと思った。

入院中ちょっと年配の看護師に

「こんな大病をすると人生観変わるわよ」とよく言われていた。

どんな風に変わるのだろうと、退院後楽しみにしていたが、さほど変化があったようには思えない。

でも、ひとつ。セーファーセックスは完璧とは言えないかもしれないけど、かなりするようになったと思う。そんなシチュエーションになった時、あの入院の事が思い出され思い踏みとどまることができるのだ！

人間ってそう容易に行動変容できるものではないと思う。僕だってあの病気にかかっていなかったら、今もリスクのある性行動をし続けているかもしれない。でもね。やっぱそんな経験はせずにセーファーセックスをできることがいいに決まってる。

そう！　回りの人のため、なにより自分自身のために！

HIV検査はなんくるないさぁ〜

セックスをする以上
HIVや性感染症の検査が
大事なのはわかっている。
でも、なんだかなぁ〜。
仕事もあるし、デートもハッテンもあるし…。
どんな所で、何されるのかも
良くわからないから不安！
そこで、うちな〜のゲイを代表して
ドラアグクイーンのVanillaさんに体験してもらった
その体験レポートで
HIV抗体検査（エイズ検査）を予習しておこう。

Vanillaの突撃レポート

1. まず、電話で予約をします。

保健所では、検査時に、他の人と会わないで済むようにする工夫をしています。電話での予約もそのひとつです。前の人、次の人、と顔をあわせないで済むように予約を入れていきます。このときに、他の性感染症（クラミジア、梅毒、B型肝炎、C型肝炎）の検査も同時に受けられる（有料）ことや、検査当日の手順などを説明してくれます。本名や連絡先を伝える必要はありません。キャンセルをする場合は、必ず連絡を入れましょう。

アタシ、個人的にも最近検査を受けたの。検査結果を何日も待つのが嫌だったので、事前に予約を入れて即日回答の検査を受けたわ。

Vanilla
沖縄でDrag Queenとして
SHOWやダンサーとして活動中。
普段はスッピンでCAFE勤務。

2. 直接検査受付へ

中央保健所のロビーには、総合受付がありますが、そこへ立ち寄る必要はありません。まっすぐ、入り口から入って左側の廊下に入り、すぐ右にある第1相談室（感染症室）に行ってください。感染症担当者が対応してくれます。中央保健所には、男性の保健師さんもいます。

※保健所の検査のシステムは、保健所ごとに違います。今回は、中央保健所のご協力を得て、Vanillaさんに即日検査によるHIV抗体検査を体験してもらいました。

3. まずは、問診票の記入

検査申込書に必要事項を記入します。問診票も渡されますが、記入は自由で、記入したくない人はする必要はありません。記入する間は、保健師さんもいない個室で記入します。この検査申込書や問診票に番号がつけられます。名前の代わりにその番号で検査は進みます。

4. 感染症担当者と面談

申し込み書と問診票の記入が終わったら、隣の部屋の担当者に声をかけます。記入した問診票をもとに、簡単な確認がある場合もあります。そのあと、検査の流れについての説明を受けます。また、他の性感染症の検査も受ける場合は、料金の精算をします。検査の結果を聞ける時間についての説明を受けます。HIV検査については、採血のあと約1時間から1時間半ぐらいで結果はわかります。その他の検査については、項目によって違います。

ちょっとドキドキする瞬間。でも、担当の方がやさしく緊張をほぐしてくださいました。終わってみるとあっという間でした。

5. 採血

感染症担当者から、問診票を入れたフォルダーを受けとり、自分で12番の検査室へ行きます。そこで、採血をします（約5cc）。採血はすぐに終わります。採血が終わると、検査結果をもらうときの引き換え証として検査結果説明票を受け取ります。

6. 検査結果

a 採血後、1時間ほど待って、結果を聞くことになります。待っている時間が無い場合は、結果を後日聞くことも可能です。電話では結果を聞くことはできません。HIV以外の検査結果については、郵送（80円切手は自己負担）でもOKです。

b 結果を聞く時は、はじめに行った第1相談室へ行きます。検査室で受け取った検査結果説明票を感染症担当者に渡してください。そのあと、個室へ通されます。

結果のお知らせは、医師または保健師が行います。個室の中で、ほかに誰もいない状態で行われます。これは、陰性の場合も、陽性の場合も、専門的な説明、アドバイスがあります。

結果が出るまでの待ち時間が約1時間半程ありましたが、待ち時間は何をしててもいいの。雑誌を読んでたらあっという間でした。

検査結果も丁寧に説明して頂き、ちゃんと受検者の立場に立った親切な対応でしたので、正直、検査を受けるまでは面倒臭いな～とか億劫に思っていましたが、実際に受けてみて、素直に検査を受けて良かったと思えました。

保健所からのメッセージ

迅速検査では、陰性の場合、約1時間後に結果をお知らせできますが、陰性が確認できない場合、確認検査をする必要があります。その確認検査の結果は、保健所によって違いますが、中央保健所では約3（営業）日後にお知らせできます。

お友達どうし一緒に検査を受ける場合、HIV検査で陰性が確認できなかったり、他の性感染症検査が陽性の場合、結果を伝えることの出来るお友達かどうか、ご確認のうえ検査を受けてください。

もし、HIV確認検査で「陽性」となった場合、HIV／AIDS患者さんを専門に診ている病院をご紹介します。また、ご希望されれば、本名をお聞きした上で、希望の病院にご紹介状を準備して、予約を入れることが出来ます。

HIV検査はメリットしかない!!

琉球大学医学部附属病院 准教授　健山正男

私は琉球大学医学部附属病院でHIV診療の責任者を努めています。私はこれまで沖縄県内で125名の患者さんの診療を行っており、その経験から今回はHIV検査をうけるということのメリットをみなさんにお伝えしたいと思います。

A. 検査を早めにうける「メリット」としては、たとえ陽性であっても次の4つのことが挙げられます。

a より、長生きができる。

b 仕事・学業の中断なく治療が続けられる。

c パートナーへの感染が防げる。

d 人生設計が早く立てられる。

aについては、若い年齢で、病気の進行度が少ない程、早く治療することにより平均余命（その人の寿命）が長くなることが知られ、20歳ではHIVにかかっていない人と殆ど変わらないことがわかっています。bは、エイズを発症していなければ殆どの人が外来通院で治療が可能であり、そのため周りの人にHIVにかかっていることを知られる心配がより少なくてすみます。cは、パートナーまたは他者への感染予防につながります。もし、感染させていた場合でも、大事なパートナーも早めに治療をうけさせることができます。dは、HIVは現時点では生涯お薬を飲まなければなりませんが、それを生活の中心におくことが大事となります。そのため、就学、就職、仕事の継続において自分の当初の予定を成しとげるために必要な準備を早めに進めることができます。感染を放置していると、必ず訪れる突然の病気の発症で自分の夢を中断させるリスクがあります。

B. 検査を受けない「デメリット」は

先に述べた「検査を早めにうけるメリット」の裏返しになりますが、それに、私の診療の経験からもうひとつ追加すれば、感染していないのにも関わらず、それを知らないで不安な毎日を過ごすため、消極的な生活を送り続けていた人も大勢みてきました。

C. どんな人がHIV検査を受けるべきか？

この質問をよく受けます。答えは明解です、コンドームを使わないで性行為を行った人は全て対象です。米国では、今年もう一歩進んで性行為と関係なく13歳以上の全ての病院を訪れた患者さんにHIV検査を行うことを全米の医師に勧告しました。これはこれまで述べたようにHIV検査を早期にうけることはメリットが大きいことによります。またアメリカでは感染を知らない人から年間2万人以上がHIVの感染をうけているという事実があります。

D. それでも不安な人へ

HIV検査をうけるためには、万が一陽性だった場合でも、しっかりサポートが受けられる安心感が必要だと思います。「ゲイとして差別や偏見をもたれないか？」「プライバシーは守られるのか？」「診療費は大丈夫か？」など不安がつきまとうものです。琉球大学医学部附属病院の患者さんは90％近くが男性同性愛者です。私達スタッフは性的少数者に対してどのように向き合うか、日々研鑽を重ねており、男性同性愛者の支援者グループとも密接な連携を持っています。沖縄県内のエイズ拠点病院は全国的にも高いレベルで、患者さんのケアを提供しています。安心して1日も早くHIV検査を受けることをお薦めします。

最後にまとめです。

「HIV検査をうけるのには、メリットしかありません!!」

プロフェッショナルは僕たちの味方だ！

病院はコワイところ？　そんなイメージを変えてくれるのが
HIVにかかわるいろいろな専門家たちだ。
医療、看護、薬学、心理、福祉など、
さまざまなプロフェッショナルがチームを組んで
HIV陽性者を支えてくれる。
沖縄のHIV診療を行う3つの拠点病院では、
それぞれの専門分野の知識や技術はもちろん、
プライバシーを守る義務を守り、セクシュアリティについても学び、
安心できる質の高いサービスを提供してくれている。

「看護師」

治療と生活の両立が出来るように

宮城京子さん（HIV専任看護師）

HIV感染症は毎日お薬を飲み、病気と上手く付き合っていくことで、生活も仕事も続けることが出来る、コントロール可能な病気として考えられるようになってきています。

HIV専任看護師はHIV患者さんに治療と生活の両立が出来るように病気の正しい知識を提供しています。患者さん自身の体調・内服管理方法やパートナーへの二次感染予防について、また、何かしら症状が出現したときなど必要な診療科受診の必要性を説明するなど、医療や生活などの相談を担当しています。また、受診が遠のいている患者さんには、電話をかけ様子を確認し、受診の相談などもしています。

HIV診療は多くの複雑な問題を持つ場合があるため、医師・看護師・薬剤師・カウンセラー・ソーシャルワーカーなどの専門職からなるチーム医療を行っており、患者さんが満足のいく医療が受けられるように、他職種との調整などコーディネートも行っています。

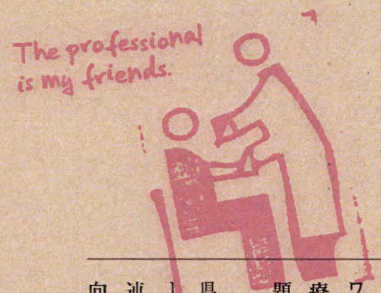
時には厳しくも、友人のように、または家族のように関わり、いつでも受診がしやすいように雰囲気作りにも心掛けています。

元気に退院される患者さんの笑顔を見るととても嬉しくなる

石川章子さん（病棟師長）

私は、病棟勤務の中で、HIV／AIDSで入院される患者さんのケアを行っています。病棟では患者さん自身の感染を予防するため、またプライバシー保護に配慮し話がしやすいように出来るだけ個室での入院としています。入院中には受け持ち看護師を中心に、病気や今後の生活、治療方針などに関して、パンフレットを使用し教育を進めています。毎週のチームカンファレンスの中で情報交換を行い、患者さんによりよいケアを提供できるよう心掛けています。AIDSを発症し入院される患者さんと関わることもあり、もっと早く治療が出来れば後遺症を残さなかったのではないかと残念でならない経験もします。しかし、その中でも、治療が上手く進み元気に退院される患者さんの笑顔を見るととても嬉しくなります。もちろん感染しないように予防に留意することで大切ですが、万が一心配だなと思うとき、早めに検査することを勧めます。早期発見・治療することは合併症で辛い思いをしなくて済むのですから…。

もしも入院が必要になったときは私たち病棟スタッフも安心して入院治療が出来るようにサポートします。



定期的なネットワーク会議でHIV医療・看護の向上を

仲程ひろみさん（南部医療センター・こども医療センター　看護師）

HIV感染症は慢性疾患といわれるようになっていますが、人によっては身体的・社会的・経済的・心理的に心配が生じる病気です。

私たち看護師は患者さんの抱えている様々な問題を一緒に考えて、サポートしています。性生活の問題など相談もお受けしています。気軽にご相談ください。

また、患者さん自身が自分の病気に対し、治療方針を決定すると共に自己管理できるよう当院でも医師、看護師、薬剤師、医療ソーシャルワーカー、臨床心理士、検査技師、栄養士、理学療法士などチームでサポートし、多方面から問題解決に努めています。

さらに、沖縄県の3拠点病院（琉球大学・沖縄県立中部病院・南部医療センター・こども医療センター）で定期的に看護師ネットワーク会議をもち、連携を深め沖縄県全体のHIV医療・看護の質向上に努めています。

「医師」

患者さんとの笑顔での会話が仕事の喜び

仲村秀太さん（医師　琉球大学医学部附属病院）

「HIVの治療薬は10年前とは比較にならないほど進歩していて、患者さんへの負担もかなり小さくなりました」そんな話を初診の外来でするわけなのですが、多くの患者さんは不安と緊張を抱えていらっしゃるのでなかなかお話することが伝わりません。病気や治療の話はもちろんとても重要ですが、患者さんにとってはHIVのこと、そこから生まれる死へのイメージ、仕事や将来、家族やパートナーとの関係など解決しないといけない難題が山のようにあるんですよね…。なので初診の患者さんとお会いするときにはなるべくお互いが話しやすい雰囲気でいられるようにいつも心がけています。

内科医としてできることは患者さんの状態にあった診療プランやお薬の設定を行うことです

が、患者さんの抱える問題が多岐に渡る場合は看護師や薬剤師、ソーシャルワーカーのみなさんと一緒に診療に取り組んでいます。

みなさん最初は本当に不安で大変だと思うのですが、外来で通院していくうちに少しずつ余裕も出てきます。外来の診察室で笑顔で日常のことなどを話してくださる時、これもこの分野で仕事をしていて嬉しいなと感じる一コマなんです。

いろいろな職種がチームで支える

嘉数光一郎さん（医師　沖縄県立南部医療センター・こども医療センター）

保健所や医療機関でＨＩＶ検査陽性といわれ受診される方へ。

ＨＩＶ陽性といわれびっくりしてパニックになる方や、やっぱりそうかとある程度予想した結果で比較的落ち着いてる方など反応はさまざまと思いますが、今後どうなるのかという不安があることでしょう。病気はどうなっていくのだろうか？　治療はどうなるのか？　いくらくらいかかるのか？　だれに相談したらいいだろうか？　人に知られたくない。などなど…。

当院ではゆっくり診察できるように一般外来とは別に時間をとって診療しています。外来予約表には表示してませんので、地域連携室を窓口にして予約をとっています。

初診時は多くの方が病気そのものについて充分理解されてなく不安が強いようです。ＨＩＶ感染後の自然経過や免疫力が低下するといろいろな病気がくっついてくるため、そうならないように検査をして治療の計画をたてる事。ちゃんと治療すれば、薬は一生飲み続ける必要があるが、免疫力が回復して一般の方と同じような生命予後が得られること、常に自分だけでなく他人も大事にしてこれ以上新たに感染しないこと、させないように注意する事などを説明してます。

担当医だけでなく、専任看護師、薬剤師、ソーシャルワーカー、カウンセラーなどいろいろな職種がチームで支えること、プライバシーは守ることを理解され、帰りには表情も和らいでる方が多いようです。ＨＩＶ感染の有無を早く知ることは自分だけでなくパートナーや周りの人々も大事にすることになります。

「カウンセラー」

ＨＩＶ陽性者のよりよい生活のための心理的な支援

大城市子さん（琉球大学医学部附属病院　臨床心理士）

ＨＩＶ陽性者がより良い生活を送っていくうえで、医学的なケア、社会的なケアとともにメンタルヘルスも大切です。感染をめぐって不安や悩みが生じることは自然なことです。カウンセラーは、ＨＩＶに感染した方、その家族やパートナーの方が体験している不安な気持ちや、迷い、悩みにそのまま寄り添い、少しでも気持ちが楽になるようにお手伝いします。また、感染という事実をどのように受け止めていくか、「病をかかえて生きる」という人生の大きな課題について、どのように対処していくかを一緒に考え、その人が最も自分らしく生きていけるようサポートします。

沖縄県では、ＨＩＶ陽性者のためにカウンセラーを病院へ派遣する制度があります。カウンセリングを希望する方は、受診のときに主治医に相談して下さい。カウンセリングの期間や回数は、カウンセラーと話し合って決めることが出来ます。プライバシーはもちろん守られます。

なお、派遣カウンセラーによるカウンセリングは無料です。

「ソーシャルワーカー」

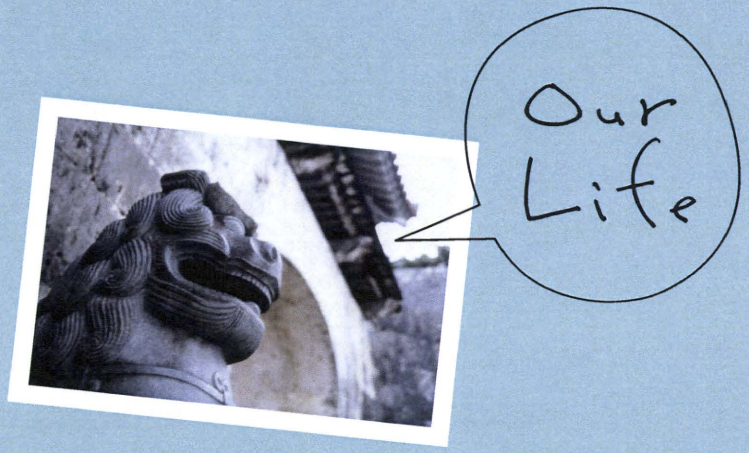
安心して上手に医療や福祉の制度を利用してほしい！

石郷岡美穂さん（医療ソーシャルワーカー）

万が一陽性とわかった時でも安心して病院を受診できるように、伝えたいことが2つあります。ひとつは医療費のことです。慢性疾患であるＨＩＶの長期治療に備えるためには、医療や福祉などの制度をタイミングよく利用して医療費の自己負担をできるだけ軽くすることが大切です。制度の利用を検討する過程で、患者さんがよりよい意思決定ができるよう、諸制度の説明時は『わかりやすい言葉で！』、『わかるまで何度でも！』をモットーにしています。

ＨＩＶ陽性者の方は病院受診時に健康保険（保険証）が使えます。内服を開始すると外来通院では自己負担3割の方で一ヶ月5～6万円ほど必要になります。そこで薬を開始する多くの方は身体障害者手帳と同時に自立支援医療（更生医療）を申請して月々の医療費負担を軽くする対策をとっています。

伝えたいことの2つめは、プライバシー保護についてです。健康保険を使って受診したり、身体障害者手帳等を申請する時は、病院のほかに健康保険を扱う機関、市町村、都道府県との関りがありますが、どの機関に属する職員にも関係法令によって守秘義務が課せられています。また、各地の市町村窓口におけるプライバシーに配慮した取り組みのおかげで、安心して手続きできたという多くの声を聞いています。ひとりひとり関わる機関が異なりますので、個別にご相談にのっています。



Our Life 僕らはみんなこの島で生きている

第1版

企画・編集・発行●NANKR

協力●琉球大学医学部附属病院, 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター,
沖縄県中央保健所, 日本陽性者ネットワーク・ジャンププラス

デザイン●加納啓善

写真●加藤慶(P1, 3, 5, 8, 17, 24-26), NAO(P21),
Tomo.Yun(www.yunphoto.net)(cover, P4, 7, 11, 13, 15, 19, 30, 33)

印刷●株式会社テンプリント

このパンフレットは平成20年度厚生労働省エイズ対策研究事業「沖縄県における男性同性愛者への
HIV感染予防介入に関する研究(研究代表者:加藤慶)」により制作されました。

不安に思ったら…

これまでの自分を振り返り これからの自分を考えるために

HIV抗体検査の結果が意味するものは何でしょう?

陰性だった場合はたまたまその時点で感染していなかったというだけのこと。検査前に感じているドキドキやハラハラした気持ちを思い出してみてください。自分のセックスを振り返ってHIV感染の不安を感じるようなことがあったなら、これからはもっと安心できるセックスの楽しみ方を考えてみましょう。「安心できるともっと感じる」はず。

もし陽性だったら、落ち着いて保健師さんや、病院のプロフェッショナルに相談しましょう。これから自分にどんな治療が必要で、可能なのか。治療や健康管理について知ることは今後の生活を考える上で大切なことです。すると治療費のこと、仕事のこと、パートナーや家族とのこと、等々、これからの生活について新しいビジョンも見えてきます。

検査の前に、もし自分が陽性だった場合の相談先の情報をチェックしておくと安心です。全国には数多くの支援団体が電話相談を行っています。またHIV陽性者自身によるいろいろな活動もあります。保健所や病院でもこれらの支援サービスの情報を手に入れることができます。

HIV抗体検査は自分の性と健康の問題を考える絶好の機会なのです。

沖縄県HIV検査情報(平成20年度)

北部福祉保健所	名護市大中2-16-1	tel:0980-52-5219
	即日検査	火・水 9:00～11:00, 13:00～15:00
	通常検査	木・金 9:00～11:30, 13:00～15:00
中部福祉保健所	沖縄市美原1-6-28	tel:098-938-9701
	即日検査	火・水 9:00～10:15, 13:00～15:00　第3水 17:30～20:00
	通常検査	月～金 9:00～11:00, 13:00～15:00
中央保健所	那覇市与儀1-3-21	tel:098-854-1007
	即日検査	月・水・金 9:00～11:30, 13:00～15:00　第1水 17:30～20:00
	通常検査	月～金 9:00～11:00, 13:00～16:00
南部福祉保健所	南風原町宮平212	tel:098-889-6591
	即日検査	火・水 9:00～10:15, 13:00～15:00 第1・3・5木 9:00～10:15, 13:00～15:00　第2・4木 9:00～10:30
	通常検査	月・金 9:00～10:30, 13:00～15:00
宮古福祉保健所	宮古島市平良字東仲宗根476番地	tel:0980-73-5074
	即日検査	火・木 9:00～11:00, 13:00～15:00
八重山福祉保健所	石垣市字真栄里438-1	tel:0980-82-3240
	即日検査	火・木 9:00～11:00, 13:00～15:00
	通常検査	月・水・金 9:00～11:00, 13:00～15:00

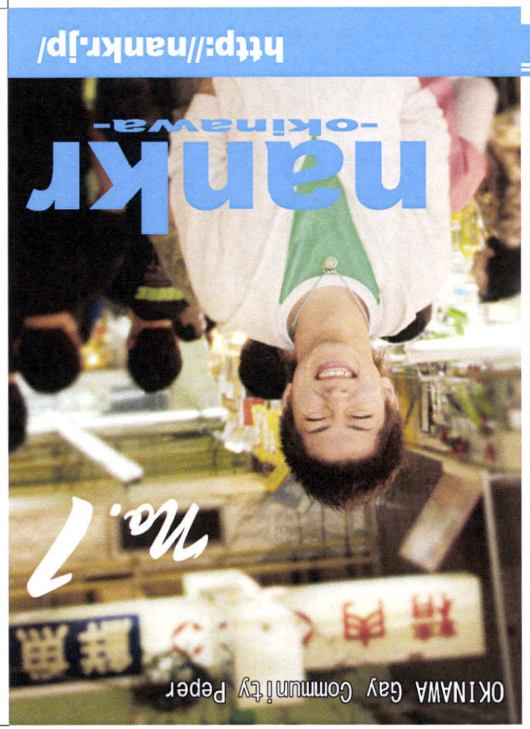
○検査日は祝祭日は除きます。○即日検査は予約が必要です。○匿名・無料で行います。
○感染の機会から2ヶ月以上経過してから検査をうけてください。

Kita-daitō island

Minami-daitō island

Oki-daitō island

Our Life



ビッチコリータとグランのお悩み相談

「有料発展場に行ってもやれず帰ることばかりです
どうすればいいですか？」

今回は那覇市にお住まいのTさん（28）からのご相談です。

B これはアタシの専門よ。
G 実は私、発展場行ったことないのよ～
B アンタ野外派でしょ？（笑）
B 発展場ってくつろげる場所でもあるのよね～。
G ネットカフェ状態？
B そう！私、実家だからさ～。ゲイが家では発揮できないのよ～。
B もしかしてこの相談者って、発展場でブラジャーとかしてるんじゃないの？（笑）
G アハハハそうかもね。アンタもしてるんじゃないの～？
B してないけど、たまに跡はついてるのよ！
G アハハハ、やっぱり～
B イベント帰りに行くと「あーもう！いやーん！ついてる～」とモの跡って跡とともに落ちにくくなるから、よくマッサージしてるわ。
G 実は私もよ（笑）。ワイヤーの跡がついて本当のオッパイみたになるわ！（笑）
G 相談に戻ろうぜ、勝負パンツ準備した方がいいんじゃない？
B そうね！ボクサーパンツとか？あっ！トランクスとか穿いてるとノンケっぽくてアガルかもね～
G 私はトランクスは無理。ボクサーで浅くもなく深くもなく
B 浅いと場馴れしてるように思われるしね。（笑）
私がそうなんだけど。（笑）
G 私がアガル色は白だわ！
B アタシは黒
G なんで？
B だって、白だとおっしっこした跡がブラックライトでシミがわかるじゃん！（笑）
G でも、亀頭のあととかわかるじゃない？（笑）
B 暗くて、わからないわよ！でも、暗いとこでもわかるように、派手な色はいいかもね。
B あとさー、その発展場のルールみたいのあるじゃない？
G たとえば？
B タチは鍵を右につけてネコは左につけるとか、ネコどうしがお尻むけあってもしょうがないじゃない？だから、そういうルールもちゃんと知っとくべきね。

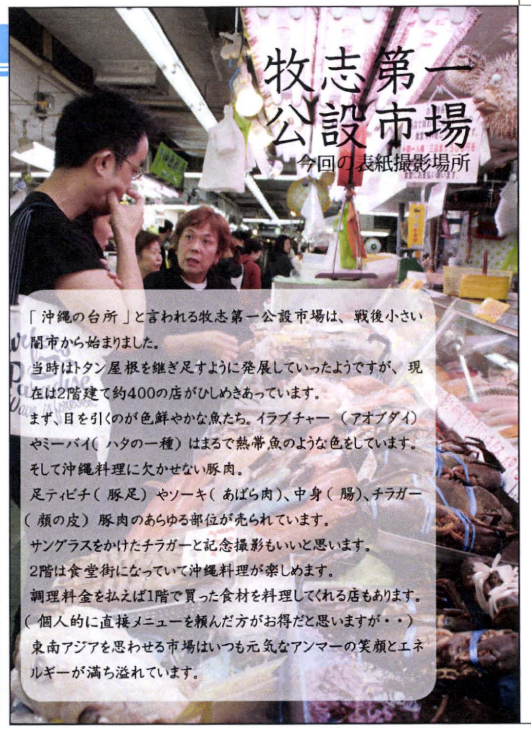
ゲイの基本用語　by 勇汁子

【タチ】・【ウケ】・【リバ】

みんなもたまーに見てる掲示板とかには「タチ募集」とか「ウケ募集」とかって書いてあるわよね。いまさらこんな基本的なことを…というそのアナタ。もう一度この言葉の使い方、考えてみませんか？普段何気なくアタシたちは「タチ」イ「ウケ」イ「リバ」って言葉を使ってて、あまり気にしないわね。でもこういう分け方は人によっては都合のいいものなんだけど、その一方で、この分け方の中には自分は入らない、こんな分け方は不都合だと感じる人もいるというお話。

普通の使い方だと、エッチの時に相手のお尻の穴に自分のペニスを出し入れして「気持ちいい～！」と感じる側を「タチ」、「いいえ、アタシは入れられることが何よりも好きなのっ！」という方を「ウケ」と言っていうのよね（「ウケ」ではなく「ネコ」という言い方もあり）。どっちも気持ちいいし、どっちもできるって人は「リバ」。でも、お尻の穴を全く使わないエッチをする人とか、挿入すること自体が嫌だって人もいるの。しゃぶるのが好きとかしゃぶられるのがいいとか、お互い相手のペニスをしごいて汁出せればOKって場合もあるわけ。こういうことが好きでそれだけしかしないという場合、さっき言った「タチ」イ「ウケ」イ「リバ」という分け方はあてはまらないのよね。だってお尻への挿入はないんですもん。

じゃあ、何をするかではなくて、メンタルな面ではどうなのかというのが次の話なんだけど、仮に「相手を自分の意のままにしたい」って思う側がタチで、「アンタの好きにして！」って自分を丸投げしちゃう側はウケとします。例えば、相手の乳首をペロペロ舐めたり、相手のペニスをシコシコしたりして自分から積極的に動く人（＝リードする側）がいた場合、相手のお尻の穴に自分のペニスを入れようとはこれっぽっちも思っていなくても、「相手を自分の意のままにする」という意味では「タチ」と言えるんじゃないかなと思うのよ。で、逆に、相手のするがままに身をゆだねて自分から積極的に相手の体に触れたりすることのない場合は「ウケ」ということになるのよね。でもセックスしてる間にそういったリードする・されるっていう役割が交代するなんてことはしょっちゅうでしょ？ということでメンタルな面での分け方もなんだかスパっとはいかないのよね。だからメールのやりとりで「兄貴ってタチっすか？」とか、バーで「○○さんってウケなの？」とか、ヤリ部屋で「アタクシ、リバざーますの。ホホホ」なんていうことは単純に言えないということになります。普段何気に使ってしまっている言葉なんだけど、ちょっと皆さんにも考えてもらおうと思ってとりあげました。



「沖縄の台所」と言われる牧志第一公設市場は、戦後小さい闇市から始まりました。
当時はトタン屋根を継ぎ足すように発展していったようですが、現在は2階建て約400の店がひしめきあっています。
まず、目を引くのが色鮮やかな魚たち。イラブチャー（アオブダイ）やミーバイ（ハタの一種）はまるで熱帯魚のような色をしています。
そして沖縄料理に欠かせない豚肉。
足ティビチ（豚足）やソーキ（あばら肉）、中身（腸）、チラガー（顔の皮）豚肉のあらゆる部位が売られています。
サングラスをかけたチラガーと記念撮影もいいと思います。
2階は食堂街になっていて沖縄料理が楽しめます。
調理料金を払えば1階で買った食材を料理してくれる店もあります。
（個人的に直接メニューを頼んだ方がお得だと思いますが・・）
東南アジアを思わせる市場はいつも元気なアンマーの笑顔とエネルギーが満ち溢れています。

沖縄県 HIV 検査情報（平成２２年度）

北部福祉保健所	名護市大中２－１３－１	0980-52-5219（健康推進班感染症担当）
	即日検査	火・水 9:00-11:00 13:00-15:00
	通常検査	木・金 9:00-11:00 13:00-15:00
中部福祉保健所	沖縄市美原１－６－２８	098-938-0701（健康推進班）
	即日検査	火・水 9:00-11:30 13:00-16:00
	通常検査	月・木 9:00-11:30 13:00-16:00
	夜間検査	第３水 17:30-19:45
中央保健所	那覇市与儀１－３－２１	098-854-1007（健康推進班感染症担当）
	即日検査	月・水・金 9:00-11:00 13:00-16:00
	通常検査	火・木 9:00-11:00 13:00-16:00
	夜間検査	第１水 17:30-20:00
南部福祉保健所	南風原町宮平２１２	098-889-6591（健康推進班感染症担当）
	即日検査	火・水 9:00-10:30 13:15-16:15 木 9:00-10:30
	通常検査	月・金 9:00-10:30 13:15-16:15 第３木 13:15-15:15
	夜間検査	第２水 17:20-19:40
宮古福祉保健所	宮古島市平良字東仲宗根 476	0980-73-5074（健康推進班感染症担当）
	即日検査	火・木 9:00-11:00 13:00-15:00
八重山福祉保健所	沖縄県石垣市字真栄里 438－１	0980-82-3240（代表）
	即日検査	火・水・木 9:00-10:30 13:15-15:15
	通常検査	月・木・金 9:00-10:30 13:15-15:15

○検査日は祝祭日は除きます。
○即日検査は予約が必要です。
○匿名・無料で行います。
○感染の機会から２ヶ月以上経過してから検査をうけてください。

※平成22年度厚生労働省エイズ対策研究事業「沖縄県における男性同性愛者への HIV 感染予防介入に関する研究（研究代表者：加藤慶）」により制作されました。

編集・発行　nankr

Dr. たてやまのHIV基礎知識

健山正男先生

琉球大学医学部付属病院で HIV 診療にあたる医師。大学時代は野球部所属。

たけし：保健所での検査のことや、治療法が進歩していて定期的な通院でコントロールできる時代になっていることなどはよく耳にするんですけれど、実際にHIV陽性になって患者として病院に通院するときのイメージってなかなかわかないし、それが不安に感じることもあるんですが。

健山先生：それでは、今回はモデルケースを通して定期通院の様子を再現してみましょう。保健所での HIV 抗体検査で陽性が判明した場合を想定します。

たけし：医療機関は好きなところを選べるんですか？

健山先生：現在、日本の HIV 診療は国の定めた「HIV 診療拠点病院」で中心的に行われています。沖縄県では琉球大学医学部付属病院、県立中部病院、県立南部医療センターの３拠点病院体制になっていて、基本的には現住所から地理的に通いやすい病院へ紹介ということになっています。各病院とも担当医師の外来日が決まっていますからあらかじめ何曜日に外来があるかとか予約が必要だとか確認する必要があります。保健所の医師にその点は確認してもらったほうがよいですね。

たけし：初診の日はどういった流れになるんですか？

健山先生：まず診察室で医師の問診があります。各病院ともに診察室には防音の設備がありますから外部に話声が漏れることはありません。その後で患者さんの状況にもよりますが血液検査など簡単な検査が行われるのが通常です。各病院には HIV 診療専門の医師以外に看護師や薬剤師、ソーシャルワーカーなどがいてチームとして診療に参加しています。初日はそういった医師以外の担当者との顔あわせも行われることがあります。大体の目安として、２～３時間は初日の診療には必要になるでしょう。

たけし：初診の日からすぐに HIV の治療は始まるんでしょうか？

健山先生：原則的にそれはありません。初日の検査（結果は１～４週間に説明）が治療をいつから開始するかに大きく関わります。ですから、２回目の受診以降に治療開始時期について大まかなプランが立つといえます。免疫の力がまだ十分にあれば、２~３ヶ月に一度血液検査で免疫力をチェックするだけで治療は行いません。しかし、血液検査などの情報から免疫力が低下している場合や合併症の危険性があると判断された場合は通院間隔はもっと短くなるかもしれませんし、場合によっては入院が必要なこともあります。

たけし：初日はどのくらい費用がかかるんですか？

健山先生：通常の３割負担で大体１万円程度になります。

たけし：なるほど、初めて受診した場合のおおまかなイメージはつかめてきました。

沖縄オススメありんくりん

ひ～ろんのオススメはこちら～。「“テンペスト”」

池永永一著“テンペスト”
上：若夏（うりずん）の巻
下：花風（はなふう）の巻

この本、マイミクさんの紹介で読んだんだけどねぇ～、話しの展開がすごいとすごいこと！！“あい！次はどうなるの？”と読んでいると時間も忘れちゃうくらい夢中になっちゃうのよ。これが♪d(　○　)b♪

上下巻とも綺麗な螺鈿細工の琉球漆器模様表紙で端からみた漆器に関連する本かなぁ～？なんて思っちゃうんだけど…。中身と表紙のギャップがこの本の魅力かもね。

あらすじは…。
幕末期の琉球王国。
真鶴という女の子が、お宮再興の父の想いを受け、性を偽り、孫寧温として琉球王府の高官となる。
高官となり、困難な難題をにぶつかりそれを見事に解決していくが…。

これ以上は書けません。まずは読んでみて！って感じ。

もちろん、主人公・真鶴に対するお決まりの嫉妬やねたみあり、ベリー提督やペッテルハイムといった歴史上の人物から妖怪中国人が登場したり、真鶴の淡い恋物語等、長編小説としては十分読み応え間違いなし！です（^O^）

あと、この本首里城が舞台なので、読み終えたあと首里城へいくと、一味違った首里城が味わえるよ☆

だけしのオススメはこちら『みき』

小さい頃、母親と牧志公設市場へ買い物に行くのが楽しい。何が楽しいって？みきを飲むことです。牧志公設市場入口一番近くの看板から入って白く光る手摺りをつたってみきの香りを嗅ぎながらドロッとしたみきを一気に飲む。（あれじゃないっすよ）甘い。

ひ一杯のみきは、ほのかな甘さと、ほのかな酸っぱさ。ひ一杯のみきは、ほのかな甘さと、ほのかな酸っぱさ。ひ一杯のみきは、ほのかな甘さと、ほのかな酸っぱさ。

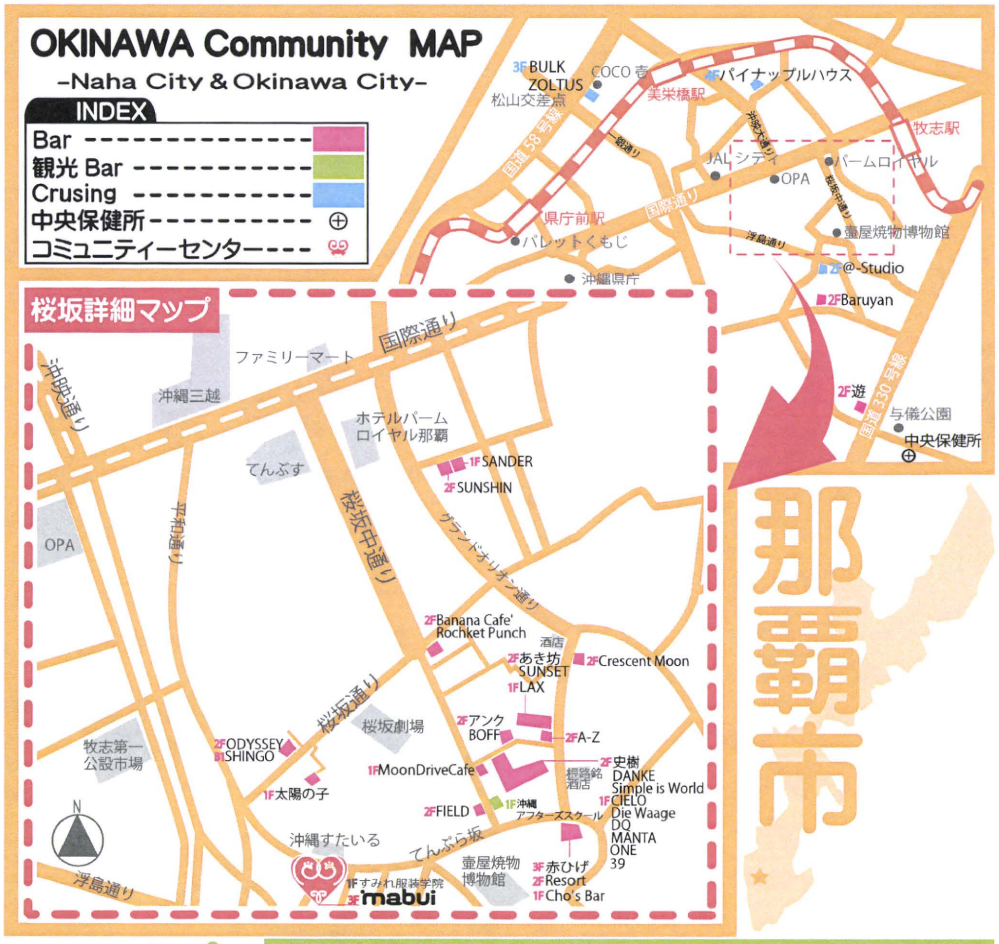
瓶でも飲めるし、ビンでも飲めるし、ペットボトルでも飲めるし、どこでも飲めるし、どこでも飲めるし、どこ

OKINAWA Community MAP

-Naha City & Okinawa City-

INDEX

- Bar
- 観光 Bar
- Crusing
- 中央保健所 ⊕
- コミュニティーセンター



那覇市

赤ひげ	098-866-6262	21:00～4:00	月
あき坊	098-866-6688	20:00～4:00	水
アンク	098-864-5912	22:00～	
史樹	098-867-9966	20:00～4:00	火・月末（月・火連休）
太陽の子	098-861-5570	20:00～4:00	火
遊	098-854-5377	20:00～1:00	水
A-Z	098-862-0487	21:00～4:00	月
Banana Cafe'	098-861-0322	21:00～5:00	ナシ
Baruyan	098-862-3933		不定休
BOFF	098-867-8023	21:00～5:00	火
CIELO	098-863-4405	22:00～5:00	火・月末（月・火連休）
Cho's Bar	098-861-3990	21:00～2:30	月・火
Crescent Moon	098-863-4187	21:00～5:00 金・土・日21:00～5:00	木
DANKE	098-866-4227		
Die Waage	098-867-8118	22:00～5:00	月
DQ	098-863-3457	22:00～5:00	日
FIELD	098-861-6333	22:00～5:00	日
LAX	098-866-3639	19:30～2:30	ナシ
MANTA	090-8923-7355	22:00～5:00	火・水
MoonDriveCafe	098-863-9995	22:00～4:00	ナシ
ODYSSEY	098-863-6784	21:00～5:00	不定期
ONE	098-861-0848	22:00～5:00	水・月末（連休アリ）
Resort	090-4471-0789	20:00～3:00	第３水
Rochket Punch	098-863-2966	22:00～5:00	火
SANDER	098-868-5880	21:00～4:00	火
SHINGO	098-862-4031	23:00～5:00	不定期
Simple is World	098-869-7333	19:00～3:00	ナシ
SUNSHIN	098-862-4649	19:00～1:00 金・土・日20:00～4:00	水
SUNSET	098-869-9244	21:00～5:00	水
39	090-6859-6639	19:00～3:00	日
沖縄アフターズスクール	098-861-8985	20:00～8:00	水
パイナップルハウス	098 867 9952	13:00～10:00	ナシ
BULK		13:00～10:00	ナシ
ZOLTUS	090-6859-6639	17:00～11:00	ナシ
@-studio	098-864-1387	19:00～4:00	月

石垣市

玉屋	0980-88-0595	21:00～2:00	水
Another Sea	080-2717-9688	21:00～1:00 11月～4月はOPENが30分早くなります。	火

宮古市

くまから	0980-73-2102	21:00～2:00	水

沖縄市

一心	098-933-0735		
スナックコザ	098-930-4419	21:00～4:00	月
Fellow	098-933-3738	21:00～4:00	火
Hunk	098-932-8009	21:00～5:00	水
MAN-GO	098-932-8009	15:00～12:00	ナシ

沖縄コミュニティセンタ mabui

mabuiは沖縄の人・観光で来ている人、ゲイ、バイセクシャルの男性が気軽に立ち寄れる情報ステーションです。
HIVをはじめとした性感染症や、沖縄のゲイコミュニティの細かい情報まで発信しています。
そして、みんなのコミュニケーションの場となることを目指します。
もちろん入場は無料！
カフェコーナーやミーティングなどで使える貸出スペースもあります☆

募集

nankr 沖縄では毎週金曜日21時半～23時くらいまで、お揃いのポロシャツを着て、バーにコンドームを始めとした予防と陽性者支援のさまざまなメッセージを配布しています。沖縄中にセックスと健康のアイディアを溢れさせるという活動です。みんなで一緒にデリバリーしませんか？那覇市と沖縄市を毎週交互に補充しています。その他、クラブイベント、スポーツ大会などでも配布してます。ボランティアなので気軽に参加してください！随時募集中です！

週3日開いています！
金曜日 18：00～22：00
土曜日 17：00～23：00
日曜日 15：00～21：00

お問合せ：コミュニティセンター mabui
TEL：098-862-0114
E-mail:office@nankr.jp
HP：http://nankr.jp/

CIELO 沖縄あの店この店

マスター 空（35歳）
ハーフ顔の沖縄イケメンです。

このコーナーでは沖縄のゲイバーをご紹介します。1回目の今回はオープンして6年目の「CIELO」さんです。

「CIELO」（シエロ）とはイタリア語で「空」を意味します。マスターの名前からきているんですね。2年前移転オープンした「CIELO」さんはコンクリート打ちっぱなし風で天井が高く実際よりもひろく感じられます。

薄暗い店内でカウンターから放たれるブルーの光は幻想的でもあります。客層は平成生まれから還暦の方までと幅広く、「マンションはオールマイティお客様に合わせます」とのこと。これはありがたいです。

そしてもう一つありがたいのがカクテルのボリューム。マスター自身がザケヌマー（酒飲み）だからとカクテルは大きなグラスでだします。この量の多さには観光さんもびっくりだそうです。

基本的にはマスターがカラオケ好きということもあり歌いながらワイワイ楽しく飲んでいたくということですが、2時か3時頃にお客様の入れ替わりがあり、前半はまったり後半は大騒ぎというパターンが多いようです。

出会いというと、どういう人がタイプか聞いて適任の方がいれば紹介もしてくれるそうです。（アタイハイチドモアリマセンガ ナニカ？何組カップルが成立しているそうですよ！）

そしてなんと言っても「CIELO」さんの特徴と言えば、早く、早くまで営業しちゃうってことです。一応営業時間は2：00までになっていますが、お客様が賑わっていてマスターの体力がもつ限りは遅くまで営業しています。なんと最高は朝5時まで営業したことがあるそうです。朝8時まで開けていたそうですが、朝帰りの方が最高記録もAM8時でOPEN「CIELO」です。

私たち「nankr」が置かせてもらっている沖縄オリジナルパッケージコンドームですが、好評で減りも早いそうです。「イイ」に入る度に少なくなっているので、みんなそういう機会があるのねと思う。ことのこと、日曜夜遅の宣伝をしてくれたり、私たちの活動に協力的なお店です。これからもよろしくお願いします。

早い時間にまったりしたい時、カラオケで盛り上がりたい時、朝まで騒ぎたい時、ぜひ「CIELO」さんをご利用ください！（K）

「CIELO」
営業時間22時～5時　定休日　火曜日　電話098－863－4405　那覇市牧志3－7－8平川ビル1F
http://www.cielo-sora.com

pp10-a.indd 2　2010/08/29 22:48:34

2009年度厚生労働科学研究費補助金 エイズ対策研究事業
沖縄県における男性同性愛者へのHIV感染予防介入に関する研究

男性同性愛者からの聞き取り調査

研究代表者 ： 加藤　慶（横浜国立大学大学院環境情報研究院）
研究協力者 ：石川大我(特定非営利特定法人ピアフレンズ)・福岡安則(埼玉大学教養学部)・黒坂愛衣(東京外国語大学)・神谷悠介(中央大学大学院文学研究科社会学専攻博士後期課程)・斎藤幸太(立教大学大学院コミュニティ福祉学研究科コミュニティ福祉学専攻博士前期課程)・佐藤太郎(早稲田大学教育学部学生)

研究要旨

男性同性愛者へのHIV感染予防介入を行うには、同性愛当事者の特徴を把握し、その特徴を踏まえたうえでの予防介入が必要であると考えられる。そこで本研究では、その特徴を把握するため、男性同性愛当事者からのライフストーリーの聞き取り調査を行った。平成20年度では沖縄県内の当事者の方より聞き取りを行ったことから、平成21年度では関東地方の大都市圏に居住する当事者の方からの聞き取り調査を行った。

A. 研究目的

男性同性愛者へのHIV感染予防介入を行うには、同性愛当事者の特徴を把握し、その特徴を踏まえたうえでの予防介入が必要であると考えられる。そこで本研究では、その特徴を把握するため、男性同性愛当事者からのライフストーリーの聞き取り調査を行った。

B. 研究方法

平成20年度では沖縄県内の当事者の方より聞き取りを行ったことから、平成21年度では関東地方の大都市圏に居住する当事者の方からの聞き取り調査を行う。

調査協力は、男性同性愛者のセルフヘルプグループであるピアフレンズの参加者に対して研究協力の呼びかけを行い、後日、聞き取り調査を行った。

・日程　2009年11月および2010年1月
・場所　東京都世田谷区・神奈川県横浜市

なお1月は、かながわレインボーセンターSHIPとの共催である。

C. 研究結果

語り手は、共通して子どもの頃からゲイであるという属性にむけられる外側からの否定的なまなざしを感受してきていた。これによって、自らの存在に悩む経験をしていた。

しかしその後、ほかの男性同性愛当事者との出会いによって、「自己の属性を隠さないですむ人間関係」や「おなじ属性をもつひとと出会える場」と出会うことによって、自らの存在を肯定するようになっていった。

D. 考察

語り手は共通して否定的なまなざしを子どもの頃から感受しているが、その後、当事者との出会いによって、自らの存在を肯定的に受け止めることができるようになっていった。しかし、自らの存在を受け入れることと、当事者ではない他者と同性愛当事者であることを隠さずに生活することと必ずしも結びついているわけではなかった。これらは、隠している当事者、オープンにしている当事者ともに、当事者との出会いがともに重要であることを示唆するものである。

E. 結語

平成22年3月に沖縄県那覇市に開設したコミュニティセンターmabuiの運営は、当事者によって担われており、当事者にとって安心して他の当事者と出会うことができる環境となっている。これらは、当事者にとって自らの生活に関するHIVを含む、さまざまな情報を得る機会を提供できるものであり、HIV感染症の情報を既存の公共施設とは異なった形で発信することを可能とするものであると考えられる。

F. 発表論文等

（口頭発表）-国内
なし

同性愛当事者のライフストーリー

2008年度厚生労働科学研究費補助金 エイズ対策研究事業
沖縄県における男性同性愛者へのHIV感染予防介入に関する研究

沖縄県で生活する男性同性愛者のライフストーリー研究

研究代表者：加藤　慶（横浜国立大学大学院環境情報研究院）

研究要旨

非大都市圏である沖縄県で生活する男性同性愛者は、どのような生活を送り、そして自らの生活をどのように意味付けて生きているのだろうか。これまで沖縄県における男性同性愛者当事者の生活は研究されてはいない。その生活を把握することは、沖縄県におけるHIV感染予防介入を効果的に行うための基礎資料となると考えられる。そこで、当事者2名からのライフストーリーの聞き取り調査を行ったものを掲載した。

A. 研究目的

非大都市圏である沖縄県で生活する男性同性愛者は、どのような生活を送り、そして自らの生活をどのように意味付けて生きているのだろうか。これまで沖縄県における男性同性愛者当事者の生活は研究されてはいない。その生活を把握することは、沖縄県におけるHIV感染予防介入を効果的に行うための基礎資料となると考えられる。そこで、当事者からのライフストーリーの聞き取り調査を行った。

B. 研究方法

研究方法として、質的調査に属するライフストーリーの聞き取り調査を行った。質的調査は、量的調査と異なり、そのデータ単独をもって一般的結論を導きだすものではなく、人間にとっての体験の意味付けを重視し、語り手に寄り添いながら、語り手と聞き手により、物語を構成していくものである。そのため、客観性を担保するのではなく、きわめて主観的であることを自覚したうえで、分析を行うことが必要となる。

そこで本研究では、沖縄県における男性同性愛者へのHIV感染予防を、当事者により密に適するかたちで行うことを目的として、沖縄県で生活する男性同性愛者の当事者の6名、及び比較対象とするために現在、東京都で暮らす男性同性愛者の当事者1名からのライフストーリーの聞き取り調査を行った。聞き取りにおいては、ICレコーダーを使用して語りを録音し、文章化した。

なお、語られたライフストーリーは、すべてプライバシーに属するものである。そのため、日本社会学会倫理綱領に基づく研究指針に従って人権と社会正義の尊重をはかった。具体的には、本報告書掲載前に、文章化できたものを、語り手本人にお渡しし、文章内容確認と改めての掲載確認をしている。

お話をうかがう際に、事前に筆者からは口頭にて(1)お話いただく際にはICレコーダーにて録音させていただくこと、(2)お話いただいた内容は、お話いただいた本人に属するものであることから、お話いただいた後に修正や削除の希望に応じること、(3)テープおこしを行って文章化したものは、学術研究目的のため、報告書や学会、学術論文として発表されることがあること、(4)お話いただいたあとに公表を希望しない場合、それも対応することを説明している。

このような研究倫理手続き上の要請により、本報告書では平成21年3月末日までに確認いただいた2名の方のものを掲載している。今回の報告書に掲載していない方の聞き取りデータについては、厚生労働科学研究による研究成果である旨を明記して、今後、論文化する予定である。

なお、本文中の〔　〕は、語りの意味を筆者で補ったものであり、補ったうえで、ご本人に意味の確認をとった。

C. 研究結果

(1)心を麻痺させました-沖縄に住む性的マイノリティ男性Aさんのライフストーリー-

Aさんは、沖縄生まれの沖縄育ちのゲイ男性である。聞き取り時点で、38歳。家族は、ご両親と、一つ年上のお兄さんの4人家族である。聞き取りは、2008年11月に那覇市NPO活動支援センター会議室において行った。聞き手は、加藤慶と金城健である。

オカマだった小学生時代

《A さん》小学校の入学から〔話をしますね〕。自分はずっとオカマだったんですけど、女の子とよく遊んだんだけど、特別そう、いじめられたりとかそういうのは。〔「オカマ〕とかって〕言われたことは何回かあったんですけど。ただ年子の兄さんがそういう、学年が上になるにしたがって。

やっぱり遊びが、女の子の〔ものだったから、〕休み時間とかでも、男の〔子は〕急になんか壁にボールを使って遊ぶとかいっちゃって、〔自分は〕とにかく男の子と遊ばない。

《聞き手 A》ピアノ習ってるとか［ききましたが］。

《A さん》はい。習っていました。それ以外では、放課後っていうか、それも近所の〔女の子たちと遊んでいました〕。なんか学校ごっこっていうのがあって、自分はいつも生徒の役で、なんかわかんないけど通知表とかももらって。でも先生役になったことはなくて、そうやってして遊んでた。学校の話したりとか。

《聞き手 A》小学生の頃ですか、初恋って？

《A さん》自分がいま思うと初恋だったんだと思うのは、小学校 3 年でした。沖縄の子じゃなかった。転校で来てた。男の子です、もちろん。同じクラスじゃなくて、隣のクラスだったんだけど、休み時間とかで見ると、なんか嬉しくて。で、その子の上の名前をちょっと、〔ノートの端とかに〕書いたりしてたの覚えてます。

《聞き手 A》自覚したのっていつですか？ ゲイっていうことを。

《A さん》ゲイとかっていうの、わからなくて。オカマっていうのはわかるんだけど、ゲイとかっていうのは本当に、自分たちのときは情報がなくて、インターネットとかもちろんないし、ゲイ本の存在も知らなかったし、とにかくもう絶対に男が好きだなって認めたっていうか、もう絶対〔その道で生きていく覚悟を〕せざるを得ないんだって決めたのが、中 3。というのは、修学旅行とかあって、すごい心配したんですよ。みんなでお風呂入ってるときに〔男の裸を見て……〕、っていうことを、すごい修学旅行の前に心配してたのはすごい覚えてて、それまではなんか認めたくないとかって〔気持ちで〕あったのに、「あれ？ あれあれ？」って思っちゃったとか、そういうのす。ゲイっていうことを知ってたかわからないけど、自分の興味は男なんだなと思ったのが、はっきりと思ったのが、中 2 か中 3 だと思います。

《聞き手 A》今では困惑とかってないんですか？

《A さん》悩みはずっと〔あります〕。それで、友達どうしでどうのこうのっていうのは、悩んだりしたんだけど、やっぱり思春期特有の、他のことでいっぱいとかそういうことのほうで〔悩んだりしたので〕、ゲイだけで悩んだりっていうような［ことではありませんでした］。

中学生から高校生時代

《聞き手 A》中学校のときとかって、なんともない？ ちなみに部活は何やってました？

《A さん》最初はバレー部にいたんだけど、やめて、吹奏楽部にはいり、パーカッションを担当した。女の子が多いところ［＝部活］に（笑）。

《聞き手 A》〔中学校は〕地元の？

《A さん》S 中。

《聞き手 A》S 中学校〔ですね〕。高校もこのあたり〔＝那覇市内〕ですか？

《A さん》うん、高校も那覇市内。悩んだというか、いい思い出が全然なくて、部活とかもしなくて、もうなんか、飲み屋［＝ゲイバー］があるとかも、もちろん〔未成年だから〕いけないけど、知らないし、〔同性愛の雑誌の〕『BADI』とかもない時代なんで、古本屋ですごい古い、70 年代ぐらいの、たまたま見つけたもの〔＝ゲイ雑誌〕をすごい大事に持ってた。〔高校では〕理系・文系って分かれたんですけど、〔自分自身は〕文系にいって、男子は〔クラスで自分以外に〕6 名。文系は男のひとが少ないので、〔自分以外のひとどうしでは〕仲良くなるひととかも〔いた〕。軽く仲いい人はいるんですけど、心を打ち解けて話せるっていうのは、〔自分がゲイだと〕自覚してからは〔できなかった〕。

《聞き手 A》沖縄では高校入学の選抜ってどうやってるんですか？

《A さん》内申書っていうのがあって、それとか、中学校のときの校内の席次。たとえば 100 番以内だったらこっちの高校とか、あと、この地区だったらこの高校、普通科だったらこの 3 つから選んでいって、自分の学力にあったのを決める。

《聞き手 A》高校のときはなんかやってたんですか？ 部活動。

《A さん》やらなかったですよ。だから、余計……

《聞き手 A》うちにこもってた？

《A さん》なんか、すごい冷めてしまって。なんでか知らない。今はもうすごいもったいないことをしたんだけど。いちばん楽しいはずの〔時間を無駄にして〕しまって。高校ってなん

か、青春ドラマじゃないけど、学園祭前にクラスで団結して盛り上がったりとか、クラス会終わったあともお疲れ様〔って打ち上げしたり〕、ああいうのがすごい馬鹿らしく〔思え〕て、なんかみんなの輪の中に入りたいのに入れないっていうか、その宙〔ぶらりんの〕、そのままの自分が怖くて、あまりひととも関わらないようにっていうか、なんつうのかな……

《聞き手 A》どっかでバレるんじゃないかって？

《A さん》バレてるっていうか、急に友達づきあいとかが〔減った〕。意識過剰だったのかもしれないけど、親しい友達とかとかも〔いなくて〕授業受けて帰って終わり。ほんと、楽しくなかった。学校以外で楽しみがあれば、また違った。

中学のときに、すごいこう、多感な時期でしょう。あまりにもいろんなことを感じるっていうか、このままいろんなこと感じてたら、精神の均衡を保てない。〔だから〕あんまり感じないようにしよう〔と〕。いろんなことを感じすぎて怖くて。って思って、なんか、楽しいのを見ても、べつに楽しくないようなふりをしたりとか、悲しいのを見てもべつに悲しくない、とか、それが高校になって、心を麻痺させてた。

《聞き手 A》中学生で、心を麻痺させて。

《A さん》麻痺させようとした。あまりにも感じて、「感じすぎたらおかしくなるんじゃないか、苦しい」って。で、「べつに悲しい映画見ても感じないようにしよう」とか。高校になったら、そうしたのが、ほんとに〔何も〕感じなくなって、感動が薄くなるっちゅうか、「ばかじゃないの」みたいな感じで、冷めた高校生になってしまって。クラスの中でも。といって、べつに不良でもないから、サボったり、恋愛もなく、「好きなの？」って〔このような無感動な状態でも〕思うひとはいた。

《聞き手 B》どういうひとですか。

《A さん》先輩だった。〔先輩は〕よくしてくれた。〔A さんが〕弁当忘れたら、自分の分をくれたり。

高校を卒業してから

《聞き手 A》高校卒業したあとは、どういう進路だったんですか？

《A さん》北九州っていうところに、移動。

《聞き手 A》じゃあ、18 で北九州のほうに移られるわけですね。

《A さん》はい。だけど自分は、あまりにも高校が楽しくなかったから、大学生活に夢見てたんですよ。で、自分の頭の中にあったのは、東京の大学生みたいな〔キャンパスライフ〕。でも、うちは年子で、兄さんが私立の本土のほうの大学にいってて、「本土の大学はいいけど、私立は〔経済的に〕ダメ」って言われて。〔きょうだい〕2 人で〔育てるのにいっぱいいっぱいな〕普通の家庭なんで。まあ、「本土はいかせるけど、私立はダメ。東京の私立なんてとんでもない。公立ならなんとか」っていうことで、北九州にいったんだけど、思ってたよりも田舎っていうか、すごいがっかりしたのを覚えてて、標準語を喋ってると思ったら「○○っちゃ［九州弁］」とか言ってて。自分も馬鹿なんですけど、それでなんか幻滅してしまって。

〔その大学にあった学部は〕文学部、法学部、外国語学部。今ちょっと変わってるんだけど、国際関係学科とかあって。で、大学を 1 年〔次〕で中退して出たんです。わざわざ大学をやめて予備校にいったんだけど、［次の年も大学に］落ちて。

《聞き手 A》で、北九州を出たんですよね。〔北九州にいたのは〕1 年間？

《A さん》1 年じゃないですね。半年ぐらい。

《聞き手 A》大学やめて、すぐ東京にいかれたんですか？

《A さん》いってないですね。沖縄で〔しばらく暮らした〕。次の年の試験に落ちて、1 年間また予備校にいった。東京外国語大学にいきたくて。無茶だったんですけど、今から思うと。

《聞き手 A》東京にいかれたのはいくつのときですか？

《A さん》東京にいったのは、30 のときです。ずっとあとです。大学〔時代〕でいったんじゃなくて。

《聞き手 A》受験をして予備校いってたのは、沖縄ですね。

《A さん》そうです。しかも落ちたんです。で、なにか資格を持とうと思って、介護の資格を取って、病院で働いてたんです。

介護専門学校の学生時代

《聞き手 A》専門学校で〔の学生生活〕は？

《A さん》それが、本当に楽しくなくって、これも。冗談じゃなくて。

《聞き手 A》女の子のほうが多いですよね。介護福祉士の学校だと。

《A さん》〔全校生徒の中で男は〕10 人いるかいないか。ほんとに楽しくなかった。年齢もさまざま。高校卒業したばかりのひとが主流なんだけど、やっぱり 50 近いひともいたりとか、30 いくつのひともいたりとか。そのとき介護福祉士の〔資格が〕、〔自分は〕91 年に〔専門